

平成 17 年 12 月 8 日

関係者各位

慶應義塾大学大学院経営管理研究科
大和インベスター・リレーションズ株式会社
株式会社大和総研
株式会社大和証券グループ本社

共同研究「IR活動の効果と企業価値」について

慶應義塾大学大学院経営管理研究科（慶應義塾大学ビジネス・スクール）、大和インベスター・リレーションズ株式会社、株式会社大和総研、株式会社大和証券グループ本社は、「IR活動の効果と企業価値」について共同研究を開始することを決定いたしました。平成 16 年 4 月からジャスダック証券取引所が IR 活動を制度化するなど IR 活動への関心は高まりを見せています。反面、IR 活動の実態調査によれば、上場会社は IR 活動の効果検証について依然として悩みを持っている状況が伺われます。今回の共同研究では、大和証券グループと慶應義塾大学大学院経営管理研究科（慶應義塾大学ビジネス・スクール）が協力することによって、IR 活動と企業価値の関連性について研究を行い、上場会社の積極的な IR 活動を通じた証券市場の効率化にこれまで以上に貢献いたします。

研究の目的

IR（投資家向け広報）活動と企業価値の間には、何らかのつながりがあると推定されてきた。全米 IR 協会（NIRI）の IR 活動の定義は、2001 年 9 月以前、「企業の財務機能とコミュニケーション機能とを結合して行われる戦略的かつ全社的なマーケティング活動であり、投資家に対して企業の業績やその将来性に関する正確な姿を提供するものである。そしてその活動は、究極的に企業の資本コストを下げる効果を持つ」であったが、その後 2003 年 2 月までは「企業の相対的価値を極大化することを最終目標とする」、そして 2003 年 3 月以降は「企業の証券が公正な価値評価を受けることを最終目的とする」という変遷をたどっている。

経験的にはその関係が予想されるものの、これ以外の要因が複雑に関与するため、IR 活動と企業価値との因果関係についての実証研究はほとんど発表されていない。

今回、大和証券グループと慶應義塾大学大学院経営管理研究科（慶應義塾大学ビジネス・スクール）は、IR 活動と企業価値における相関関係を明らかにすることを共同研究の目的としている。

研究内容

日本証券アナリスト協会の「ディスクロージャー優良企業」、東京証券取引所の「上場会社表彰制度」、日本インベスター・リレーションズ協議会の「IR 優良企業賞」など IR 3 賞受賞企業および大和インベスター・リレーションズ株式会社選定のインターネット IR ベスト企業賞やインターネット IR 優秀企業賞受賞企業と市場平均株価等との比較、また外形的な判断のしやすさから決算説明会等を開催している企業とそうでない企業とのパフォーマンス比較などをもとに IR 活動と企業価値の関係について研究を進めていく。

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

大和インベスター・リレーションズ株式会社

業務推進部 石橋卓磨 （電話：03-3283-7008 E-mail：ishi@daiwair.co.jp）